

会津柳津学園中学校の目指すもの

柳津町立会津柳津学園中学校

今後目指すべき学校像

今後の方向性

- ▶ 自ら企画し、高い志を持ち、他者と協働しながら新しい価値を生み出す主体性や創造性など、これからの時代を生きていくために必要な力を育む必要がある。
- ▶ 専門的職業人として必要な知識・技能の高度化に対応するため、地元企業等と連携した実践的な教育、大学等と連携したより高度な知識・技能を身に付けるための教育を充実させなければならない。
- ▶ 地方創生を進めていく中で、地域を担う人材が不足する。地域活性化のための人材を育成する必要がある。

柳津町の現状から

柳津町に限らず、会津地方のほぼ全域で過疎が進行している現状があります。日本の産業構造が大きく変化したことで、豊かな営みがあった農業、林業が衰退、働き場所を求めて多くの人々が離町せざるを得なかった状況が現在の過疎の進行を招く要因となっています。

でも、今やその状況にも変化が見られ始めています。今必要なのは、従来の「働く場所がないから町に出て行く」という発想から「地元で仕事を創る、産業を興す、起業する」という発想への転換です。

会津柳津学園中学校では、このことを念頭に、本来地域の学校が持っていた役割に立ち返り、地域を活性化する、地域を豊かにする視点で教育を構想します。地域の抱える問題を中学生の立場で考え、課題解決に立ち向かう過程で、自らの果たすべき役割を自覚し、問題発見能力、企画力、情報収集・分析能力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、チャレンジ精神など、今後日本の社会で身につけることが求められる諸能力を獲得できると考えるからです。

会津柳津学園中学校のねらい

会津柳津学園中学校開校の基本理念

3つの原則

- ① 生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな心）を育てる学校
- ② グローバル化、厳しい経済環境への対応力の基礎を養う学校
- ③ ふるさと、柳津への強い思いを育てる学校

めざす教育

- ① 厳しい環境にあっても「生き抜く力」を育み、一人ひとりの個性を生かす教育
- ② 豊かな人間性・温かい心・自ら学び自ら考える力を育てる教育
- ③ 地域に学び地域に貢献する活動を重視し、郷土愛を育てる教育
- ④ 基礎基本を身につけ、活用力を養成する教育
- ⑤ 自信とプライドが持てる教育

5つの指針

- ① 中学生が共に学ぶ唯一の中学校として誇りに思える学校
- ② 学力が身につく指導が行われる学校
- ③ 国際化・情報化に対処できる人材を育成する学校
- ④ 地域で育つ、地域を育てる学校
- ⑤ 健康と保健を重視し、高齢化社会に対応する学校

5つの指針を実現するために

中学生が共に学ぶ唯一の中学校として誇りに思える学校

- ▶ 快適な学習環境を目指します。
- ▶ 文化活動や優れた芸術作品の観賞が出来るようにします。
- ▶ 挑戦の機会を増やし、可能性を伸ばします。(各種大会・コンクール、検定試験)

学力が身につく指導が行われる学校

- ▶ 学習指導の個別化・個性化などに対応し、基礎学力の充実を図ります。
- ▶ 自分の考えをしっかりと持ち、発表したり討論できるようにします。

国際化・情報化に対処できる人材を育成する学校

- ▶ 日本語及び英語の語学指導を充実します。
 - ・英語に対する抵抗感の軽減を図り、語学指導の充実を図ります。
- ▶ 国際交流活動を活性化し、国際感覚の向上を図ります。
 - ・海外研修等を充実させてグローバルな視点を身に付けさせます。
 - ・さまざまな研修を通して、外国人との積極的交流を図ります。
- ▶ タブレットPC活用の環境を整えます。
 - ・学習指導へのタブレットPCの積極的活用を図ると共に、情報リテラシーの充実を図ります。(情報を集め、判断し、活用する能力)

地域で育つ、地域を育てる学校

- ▶ 地域や地域の方と共に学び、地域に貢献する人材を育成します。

目指すもの

- ① 主体的に課題を発見し、解決に導く力
- ② 創造的な発想力、直観力
- ③ 他者と協働するためのリーダーシップやチームワーク
- ④ コミュニケーション能力、豊かな感性や優しさ、思いやり
- ⑤ 多様性を尊重する態度

健康と保健を重視し、高齢化社会に対応する学校

- ▶ 充実した保健指導やカウンセリングの機能が十分に行えるようにします。
- ▶ 自分の健康に関心を持ち、積極的に体力づくりができるようにします。
 - ・部活動を活性化し、生徒が意欲を持って様々な可能性に挑戦できるようにします。
 - ・学校給食センターと連携し、学校給食を通して望ましい食習慣が形成できるようにします。